

得点	演習問題	実施日	月	日	氏名

【1】 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

( ① )天皇は、ゆるみ始めた律令政治を立て直そうと、( ② )年、都を平安京に移し、政治の改革をはかった。そして、国司の不正を取りしめるため中央から役人を送ったり、蔵人や検非違使などの令外の官を設けたり、農民から兵をとることをやめたり、A 東北地方の蝦夷の反乱をしずめたりした。このころ、唐から帰国した B 最澄は( ③ )宗をおこし、同じく C 空海は( ④ )宗を広め、また、漢詩や漢文学が栄えて、いわゆる唐風文化がさかんになった。

- 文中の( )にあてはまる語句を書きなさい。  
①( ) ②( )  
③( ) ④( )
- 下線部 A の中心となった人物名を書きなさい。( )
- 下線部 B が建てた寺院を何といいますか。( )
- 下線部 C の別名を書きなさい。( )

【2】 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

A 遣唐使の停止が1つのきっかけになって、( ① )世紀にはいると日本の文化は大きく変わっていった。それまでの唐風をぬけ出て、国風の文化が発達した、国風の文化を生み出す上で大きな役割を果たしたのは、( ② )の発明である。この発明で人々は、考えや感情を自由に書き表すことができるようになった。特に女性からはすぐれた文学者が多く現れ、りっぱな作品を書いた。こうして、B 国風文化は、藤原氏の政治のころ貴族の文化として最も栄え、こののち、日本の文化の伝統として長く受けつがれた。

- 文中の( )にあてはまる語句を書きなさい。  
①( ) ②( )
- 下線部 A は、だれの意見にもとづいて行われましたか。( )
- 下線部 A が決められた理由として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。( )  
ア 唐は日本船を海賊とみなし、海上では唐の水軍が日本船を捕え、上陸した日本人は唐の警吏が逮捕したから。  
イ 新羅は唐と結んで百済をほろぼそうとした、政府は百済救援のため朝鮮半島に兵を送ったが、白村江の戦いで大敗した直後であったから。  
ウ 唐への往復の航海は危険であり、唐の国内では外人の傭兵や民衆の反乱がおこって唐の国力がおとろえたから。
- 下線部 B に関する次の①～⑤のことがらに最も関係の深い人物をあとのア～キから選び、記号で答えなさい。  
① 古今和歌集( ) ② 源氏物語( ) ③ 枕草子( )  
④ 平等院鳳凰堂( ) ⑤ 法成寺( )  
ア 藤原道長 イ 紀貫之 ウ 紫式部 エ 清少納言  
オ 藤原頼通 カ 阿倍仲麻呂 キ 藤原鎌足

【3】 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

摂関家を中心とした中央の貴族がはなやかな生活をしてきた10世紀ごろ、地方では( ① )が不正をはたらき、政治が乱れてきた。そこで、地方の豪族は一族や家来とともに武装し、ここに武士団が発生したが、その( ② )には地方に住みついていた貴族が多かった。皇室から分かれた源氏と平氏はその代表である。10世紀前半、A 東西2つの乱がおこったが、武士の力をかりてやっとおさめることができ、武士の力が中央の貴族にもわかるようになった。中でも源氏は東国の争乱をしずめて勢力を増し、摂関家につかえたが、B 平氏は院に接近した。

- 文中の( )にあてはまる語句を書きなさい。  
①( ) ②( )
- 下線部 A は、関東と瀬戸内海でおこったが、この乱をおこした人物名を書きなさい。  
関東( ) 瀬戸内海( )
- 下線部 B について、院政を始めた上皇の名を書きなさい。( )
- 武士のおこりの説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。( )  
ア 律令制度による兵制のあとにできた健児が中心となって武士団をつくった。  
イ 都の貴族どうしの政権争いが激しくなって、貴族が武士団を養成し始めた。  
ウ 都の貴族が政治をかえりみず、地方が乱れたので、荘園の名主たちは武力により自衛しなければならなかった。  
エ 平安時代に寺院勢力が強大となったので、朝廷はそれに対抗するために地方の農民を武士団として育てた。

【4】 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

院政の開始によって天皇と上皇の不和がおこり、保元の乱がおこったが、武士の力をかりなければおさまりがつかなかった。しかし、この乱のあと、武士のかしらである源義朝と平清盛が対立し、1159年に( ① )がおこった。この戦いに勝った平清盛は、武士として初めての( ② )となり、一族もみな高位高官についた。平氏は全国に500余の荘園を所有し、全国60余か国のうち30余か国を支配した。また、港を整え、日宋貿易を行って利益をあげた。

- 文中の( )にあてはまる語句を書きなさい。  
①( ) ②( )
- 下線部の港の場所を現在の都市名で書きなさい。( )
- 下線部の貿易で、宋からの輸入品を次から2つ選び、記号で答えなさい。( ) ( )  
ア 刀剣 イ 陶器 ウ 銅銭 エ 硫黄

得点	演習問題 (解答)	実施日	月	日	氏名

【1】 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

( ① )天皇は、ゆるみ始めた律令政治を立て直そうと、( ② )年、都を平安京に移し、政治の改革をはかった。そして、国司の不正を取りしめるため中央から役人を送ったり、蔵人や検非違使などの令外の官を設けたり、農民から兵をとることをやめたり、A 東北地方の蝦夷の反乱をしずめたりした。このころ、唐から帰国した B 最澄は( ③ )宗をおこし、同じく C 空海は( ④ )宗を広め、また、漢詩や漢文学が栄えて、いわゆる唐風文化がさかんになった。

- (1) 文中の( )にあてはまる語句を書きなさい。  
 ①( 桓武 ) ②( 794 )  
 ③( 天台 ) ④( 真言 )
- (2) 下線部 A の中心となった人物名を書きなさい。  
 ( 坂上田村麻呂 )
- (3) 下線部 B が建てた寺院を何といいますか。  
 ( 延暦寺 )
- (4) 下線部 C の別名を書きなさい。( 弘法大師 )

【2】 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

A 遣唐使の停止が1つのきっかけになって、( ① )世紀にはいると日本の文化は大きく変わっていった。それまでの唐風をぬけ出て、国風の文化が発達した、国風の文化を生み出す上で大きな役割を果たしたのは、( ② )の発明である。この発明で人々は、考えや感情を自由に書き表すことができるようになった。特に女性からはすぐれた文学者が多く現れ、りっぱな作品を書いた。こうして、B 国風文化は、藤原氏の政治のころ貴族の文化として最も栄え、こののち、日本の文化の伝統として長く受けつがれた。

- (1) 文中の( )にあてはまる語句を書きなさい。  
 ①( 9 ) ②( かな文字 )
- (2) 下線部 A は、だれの意見にもとづいて行われましたか。  
 ( 菅原道真 )
- (3) 下線部 A が決められた理由として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。( ウ )
- ア 唐は日本船を海賊とみなし、海上では唐の水軍が日本船を捕え、上陸した日本人は唐の警吏が逮捕したから。  
 イ 新羅は唐と結んで百済をほろぼそうとした、政府は百済救援のため朝鮮半島に兵を送ったが、白村江の戦いで大敗した直後であったから。  
 ウ 唐への往復の航海は危険であり、唐の国内では外人の傭兵や民衆の反乱がおこって唐の国力がおとろえたから。
- (4) 下線部 B に関する次の①～⑤のことがらに最も関係の深い人物をあとのア～キから選び、記号で答えなさい。
- ① 古今和歌集( イ ) ② 源氏物語( ウ ) ③ 枕草子( エ )  
 ④ 平等院鳳凰堂( オ ) ⑤ 法成寺( ア )

ア 藤原道長    イ 紀貫之    ウ 紫式部    エ 清少納言  
 オ 藤原頼通    カ 阿倍仲麻呂    キ 藤原鎌足

【3】 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

摂関家を中心とした中央の貴族がはなやかな生活をしてきた10世紀ごろ、地方では( ① )が不正をはたらき、政治が乱れてきた。そこで、地方の豪族は一族や家来とともに武装し、ここに武士団が発生したが、その( ② )には地方に住みついた貴族が多かった。皇室から分かれた源氏と平氏はその代表である。10世紀前半、A 東西2つの乱がおこったが、武士の力をかりてやっとおさめることができ、武士の力が中央の貴族にもわかるようになった。中でも源氏は東国の争乱をしずめて勢力を増し、摂関家につかえたが、B 平氏は院に接近した。

- (1) 文中の( )にあてはまる語句を書きなさい。  
 ①( 国司 ) ②( 棟梁 )
- (2) 下線部 A は、関東と瀬戸内海でおこったが、この乱をおこした人物名を書きなさい。  
 関東( 平将門 ) 瀬戸内海( 藤原純友 )
- (3) 下線部 B について、院政を始めた上皇の名を書きなさい。  
 ( 白河上皇 )
- (4) 武士のおこりの説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。( ウ )

- ア 律令制度による兵制のあとにできた健児が中心となって武士団をつくった。  
 イ 都の貴族どうしの政権争いが激しくなって、貴族が武士団を養成し始めた。  
 ウ 都の貴族が政治をかえりみず、地方が乱れたので、荘園の名主たちは武力により自衛しなければならなかった。  
 エ 平安時代に寺院勢力が強大となったので、朝廷はそれに対抗するために地方の農民を武士団として育てた。

【4】 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

院政の開始によって天皇と上皇の不和がおこり、保元の乱がおこったが、武士の力をかりなければおさまりがつかなかった。しかし、この乱のあと、武士のかしらである源義朝と平清盛が対立し、1159年に( ① )がおこった。この戦いに勝った平清盛は、武士として初めての( ② )となり、一族もみな高位高官についた。平氏は全国に500余の荘園を所有し、全国60余か国のうち30余か国を支配した。また、港を整え、日宋貿易を行って利益をあげた。

- (1) 文中の( )にあてはまる語句を書きなさい。  
 ①( 平治の乱 ) ②( 太政大臣 )
- (2) 下線部の港の場所を現在の都市名で書きなさい。  
 ( 神戸 )
- (3) 下線部の貿易で、宋からの輸入品を次から2つ選び、記号で答えなさい。( イ )( ウ )

ア 刀剣    イ 陶器    ウ 銅銭    エ 硫黄